

ふく し どく ほん
小学生福祉読本

だれもが心豊かに暮らせるまちづくり
こころゆた



ふだんのくらしをしあわせに

わが国では、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されました。

新潟市では、同じ日に、「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」が施行されました。

(詳しくはp. 28「条例の概要」を見てください。)

新潟市では「障害」の「害」の字がもつマイナスイメージや当事者の方への配慮から、原則的にひらがなで表記することとしました。ただし、法律名や固有名詞などは、漢字で表記しています。

障がいのある人もない人も、年少者も高齢者も、すべての人々が誇りをもって、人ととの支え合いの中で、心豊かに暮らせるようになることが目指す社会です。

この冊子は、総合的な学習の時間などで、障がいのある人や高齢者について理解できるように、基本的な情報を紹介している「福祉読本」です。この冊子で学んだことを、障がいのある人や高齢者の方と接する際に生かしてください。(この冊子は、文部科学省、厚生労働省、新潟市などのホームページやp. 11~p. 12の「関連する本」を参考にしています。詳しく知りたい人は調べてみましょう。)

皆さんの周りには、様々なボランティア活動を通して『だれもが心豊かに暮らせるまちづくり』を支えてくれている人たちがいます。自分だけでなく全ての人のふだんのくらしをしあわせにするためには、何が大切かを考え、行動に移していきましょう。



表紙と裏表紙の絵について
新潟市中央区にある障がい者の就労支援施設「あどばんす」に通所している鈴木皓平さんの作品です。今までに多くの作品を製作してきた鈴木さんは、KFS ART CONTEST 2012で「安達博文賞」、2013年には「全国生涯学習ネットワークフォーラム」で「生涯学習奨励賞」を受賞しました。

もくじ

(ふ) だんの(く)らしを(し)あわせに

I	様々な障がいについて学ぼう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	肢體不自由, 視覚障がい, 聴覚障がい, 内部障がい, 知的障がい, ボランティア活動をサポートする施設	
	発達障がい, 発達障がいの子どもたちをサポートする施設	
	精神障がい, 精神障がいの人たちをサポートする施設	
II	障がいのある子どもたちの学習の場・・・・・・・・・・・・	9
	通常の学級, 通級による指導, 特別支援学級, 院内学級, 特別支援学校 関連する本の紹介	
III	障がいのある人たちの活躍・・・・・・・・・・・・	13
	スペシャルオリンピックス 2016新潟 「スペシャルオリンピックス 2016新潟」に参加して 障がいのある人たちの働く姿, まちなかほっとショップ	
IV	高齢者について理解しよう・・・・・・・・・・・・	17
	高齢化の現状, 高齢化による身体機能の変化 地域包括ケアシステム, 介護保険サービス	
V	認知症について学ぼう・・・・・・・・・・・・	19
	認知症とは, 認知症は予防できる, 認知症サポーターになろう 認知症の人と接するときの心構え	
VI	高齢者の方たちの大きな力・・・・・・・・・・・・	23
	大形地区コミュニティ協議会, 地域教育コーディネーター・ボランティア(庄瀬小学校)	
VII	高齢者や障がいのある人たちとの交流・・・・・・・・	25
	対等な立場で同じものを楽しむ活動(越前小学校) 「田畠の活動」と福祉施設訪問・交流(笠木小学校) 地域と連携した防災訓練～防災五人組～(小針小学校)	
VIII	障がい者に関するマークについて学ぼう・・・・・・・・	27
	新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の概要	28

I 様々な障がいについて学ぼう

1 肢体不自由

脳性麻痺、脳血管障がい、事故による脊椎損傷、病気による筋力低下などで、歩くことが困難になっている状態です。

ベッドに移ることや、着替え、洗面、トイレ、入浴など、日常のさまざまな場面で、援助が必要な人が多くいます。車いす使用者にとっては、段差や坂道が移動するときの大きな妨げになります。



【車いすを利用している人に対する配慮・理解】

- 会話する時は、しゃがむなどして目線をあわせましょう。
- 車いすが入れるように、机などの高さを調節して、作業しやすくしましょう。
- 車いすを使っている人のために、公共施設には、専用のトイレが設置されています。



脳血管障がいなどで片側の手足に麻痺がある人や事故により片足を失った人などは、杖や義足を使うことで、多くの人が自立して日常生活を送っています。

長い距離を歩くこと、階段、段差、エスカレーターや人混みで移動することが困難です。



【杖を利用する人に対する配慮・理解】

- 電車やバスの中の優先座席は、病気やケガなどで杖を使っている人、妊婦、赤ちゃんを連れている人などが優先的に座れる席です。
気持ちよくゆずりましょう。
- 滑りやすい床などでは転びやすいので、雨の日は特に注意が必要です。
- 公共施設にはエレベーターや手すりが設置されています。エレベーターの操作盤はボタンが押しやすい高さにあります。



2 視覚障がい

生まれたときから目に障がいのある人や、高齢者では、緑内障などによって視力が失われることがあります。

視覚障がいの原因となる病気は、どの年齢でも起こります。病気やケガで視力を失った人は、白杖を用いた歩行や、点字を読むことが困難なため、配慮が必要です。

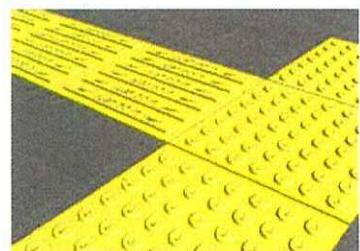
「視力障がい」は、視覚的な情報を全く得られない、またはほとんど得られない人（全盲）と、文字の拡大や視覚補助具などを使用し、残っている視力を活用する人（弱視）に分けられます。

ア	イ	ウ	エ	オ	ハ	ビ	フ	ヘ	ボ
カ	キ	ク	ケ	コ	マ	ミ	ム	メ	モ
サ	シ	ス	セ	ソ	ヤ	ユ			ヨ
タ	チ	ツ	テ	ト	ラ	リ	ル	ロ	ロ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ワ	ラン	ツ		

点字の五十音一覧表

【視覚障がいの人に対する配慮・理解】

- 音声や点字などで、情報を伝えましょう。
- 声をかける時には、ゆっくり近づき「〇〇さん、こんにちは。△△です。」のように自分から名のりましょう。
- 説明する時には「それ」「あれ」「こっち」「このくらい」などの表現は避け、「あなたの正面に」「〇〇くらいの大きさ」と具体的に説明しましょう。
- 普段から通路（点字ブロックの上など）に自転車などの通行の妨げになるものを置かないようにしましょう。



道路上の点字ブロック

ユニバーサルデザイン

信号機のある交差点で横断歩道を渡るとき、音が聞こえてきます。「ピピ ピピ ピピ」「カッコー カッコー」「ピヨ ピヨピヨ」渡る方向によって音が違います。これは「横断歩道を渡つてもいい」ということを、だれもが理解しやすいようにしている、ユニバーサルデザインの一つです。ユニバーサルデザイン（Universal Design）とは、ある施設・製品・情報をだれでも利用しやすいように考へられた設計（デザイン）のことです。目を閉じていてもコンディショナーとの区別がつきやすいうように、シャンプーのボトルにギザギザが付けられているのもその例です。



シャンプーのボトルのギザギザ



歩行者用の信号機

3 聴覚障がい

聴覚障がいは、外見上わかりにくく障がいであり、その人の抱えている困難も他の人には気づかれにくくという特徴があります。

聴覚障がいの人は、補聴器や人工内耳を使用したり、手話、筆談、口話などを用いてコミュニケーションを図っています。



補聴器や人工内耳を使用している場合、スピーカー等を通した反響のある音は、聞き取りにくい傾向があります。

【聴覚障がいの人に対する配慮・理解】

- ・後ろから話しかけてもわかりません。向かい合って話しましょう。
- ・音声だけで話さずに、手話や文字表示などの視覚的情報も一緒に用いましょう。
- ・パソコンやタブレットなどのアプリに、音声を文字に変換できるものがあるので、これらを使用すると便利です。

4 内部障がい

心臓、肺、腎臓、肝臓、膀胱・直腸、小腸などの機能障がい（機能が充分働かないこと）や、HIV（ヒト免疫不全ウィルス）による免疫機能障がい（免疫がうまく働かないことで別の病気が引き起こされていること）により、日常生活に困難がある状態をいいます。外見からは、障がい者とはわからないこともあります。

疲れやすく、長時間立っていることや作業が困難であったり、常に医療的対応を必要としたりします。

【内部障がいの人に対する配慮・理解】

- ・ペースメーカーは外部からの電気や磁力に影響を受けることがあるので、電車やバスの優先座席付近では使用を控えましょう。
- ・人工透析が必要な人は、定期的に通院することが必要です。
- ・呼吸器機能障がいのある人で、常に酸素吸入が必要な人は携帯用酸素ボンベを使用することが多いです。



携帯用酸素ボンベを使用している人

5 知的障がい

考えたり、理解したり、読んだり、書いたり、計算したり、話したりするなどの、知的な機能に発達の遅れがあり、生活する上で困難が生じます。お金の管理、会話、買い物、家事などに関して、援助が必要です。

知的障がいの原因としては、ダウン症候群などの染色体異常や、出産時の酸素不足による脳症や外傷性脳損傷、乳幼児期の高熱によるものがあります。てんかんを伴う場合もあります。

【知的障がいの人に対する配慮・理解】

- ・言葉による説明を理解しにくいことがあるため、ゆっくり、ていねいに、わかりやすく話しかけましょう。
- ・文書は、漢字を少なくし、ルビ（ふりがな）をふるなどして、わかりやすい表現に直しましょう。
- ・写真、絵、ピクトグラム（絵文字）など、わかりやすい情報提供を工夫しましょう。
- ・てんかんの発作には、けいれんしたり突然意識を失うこともあるため、安全の確保に努めましょう。



ピクトグラム（絵文字）の例

ボランティア活動をサポートする施設

ボランティア・市民活動センター

ボランティア活動に「関心がある」「参加したい」「手伝ってほしい」人たちのための相談窓口として、様々な情報を集めて、ボランティア活動を応援している施設です。

ボランティア活動を希望する場合は、各区にある社会福祉協議会のボランティア・市民活動センターへ連絡してください。

（連絡先などは新潟市社会福祉協議会のホームページを見てください。）

6 発達障がい

発達障がいの特性は、だれもがもっている特性です。発達障がいの人とそうでない人を、明確に分けることはできません。その意味で、発達障がいは「強い個性」と捉えた方がいいかもしれません。

発達障がいは、脳の中権神経(脳と脊髄)に何らかの機能障がい(機能が充分に働かないこと)があると考えられています。

専門的な診断・検査をもとに、一人一人の能力に応じた対応策が求められるため、専門家と相談することが必要です。

○自閉症スペクトラム(自閉症、アスペルガー症候群を含む広汎性発達障がい)

自閉症は、外からのいろいろな情報をきちんと知る働きに障がいがあるために、周りの状況がよく理解できず、うまく対応することができない状態を言います。

アスペルガー症候群は、広い意味での自閉症に含まれる一つのタイプで、幼児期には比較的わかりにくいけれど、成長とともに人間関係の不器用さがはっきりしてきます。

＜社会性の困難＞

- ・相手の表情や態度などよりも、文字や図形、物の方に関心が強いです。
- ・見通しの立たない状況では不安が強いが、見通しが立つ時はきっちりしています。
- ・大勢の人がいる所や、気温の変化などに対して感覚が非常に敏感で苦労していますが、それが芸術的な才能につながることもあります。

【自閉症スペクトラムの人に対する配慮・理解】

- ・肯定的、具体的、視覚的な伝え方の工夫をしましょう。「〇〇しない」ではなく「〇〇しましょう」という伝え方、図・イラストを使って説明するなど)
- ・少しずつ高めていく支援をしましょう。(手順を示す、モデルを見せる、体験練習をする、新しく挑戦する部分は少しずつにするなど)
- ・感覚過敏がある場合は、音や肌触り、室温などの調整を行いましょう。
(イヤーマフを活用する、大声で説明せずにホワイトボードで内容を伝える、居場所を衝立などで区切る、エアコンのある部屋を利用するなど)



○学習障がい (LD)

全般的な知的発達に遅れはあります。しかし、「読む」「書く」「計算する」などのいずれかが苦手です。本人は努力していても「勉強する気がない」と誤解されることがあります。

<読みの困難>

- ・1文字ずつ読む傾向があります。
- ・形の似た字を間違えやすいです。
- ・文をどこで区切って読めばいいか、わからないことがあります。

<書きの困難>

- ・鏡文字（鏡に写ったような文字。上下はそのまま左右が逆になっている。）になることがあります。



鏡文字の例

「モナリザ」や「最後の晩餐」を描いた画家としてだけでなく、様々な分野で素晴らしい業績を残した、イタリアのレオナルド・ダ・ヴィンチ(1452~1519)は、13000ページものノートを、全て鏡文字で書いたことで有名です。

【LDの人に対する配慮・理解】

- ・得意な分野を積極的に使って情報を理解し表現できるようにします。(パソコンを活用する際は、文字を大きくしたり行間をあけるなど、読みやすくなるように工夫します。)
- ・苦手な部分については、作業の量や内容を調整する必要があります。

南雲 明彦さん (明蓬館高等学校 共育コーディネーター) (学習障がい)

南雲さんは、1984年、新潟県の湯沢町生まれです。小学校に入学して、黒板に書かれた文字が揺れたり、傾いたりして見え、形がよくわからず、覚えることができないことに気づきました。

中学校では、わかるところだけノートを取り、他は友達のノートを借りてコピー機で拡大印刷し、何度も練習しました。地元の公立高校へ入学した後、難しい内容の授業についていけなくなり、学校を休むようになりました。

21歳になった時、読み書きができない人をサポートしている、あるボランティア団体の事務所を訪れました。そこで初めて自分を今まで苦しめていた原因、学習障がい (LD) を知ったのです。

現在は、学習障がい (LD) について知つてもらうため、全国で講演をしています。パソコンは南雲さんにとって、なくてはならない道具です。文字を拡大したり『ゴシック体』にして読みやすくしたり、音声読み上げソフトを使って耳で聞いたりします。



○注意欠陥多動性障がい (ADHD)

ADHD は 7 歳以前に症状が現れ、社会的な活動や学校での生活に困難が生じることがあります。育った環境などが原因で ADHD そつくりの症状が引き起こされる場合もあり、専門家による診断が必要です。次々と周囲のものに関心をもち、周囲のペースよりもエネルギーに様々なことに取り組むことが多い反面、次のような特徴も見られます。

<注意欠陥の特徴>

- ・活動に集中できず、気が散りやすいです。
- ・物をなくしやすく、忘れ物が多いです。
- ・順序立てて活動に取り組んだり、身のまわりのものを片付けることが苦手です。



<多動・衝動性の特徴>

- ・じっとしていられず、席を離れて走り回ることがあります。
- ・順番を待つことが苦手です。・静かに遊べなくてしゃべりすぎる傾向があります。

蓄音機や電灯など、100以上の発明をした科学者の、トーマス・エジソン(1847~1931)は、実験は好きでしたが、文を書くことが苦手でした。エジソンは ADHD だったと言われています。

【 ADHD の人に対する配慮・理解】

- ・短く、はっきりとした言い方で伝えましょう。
- ・気の散りにくい座席の位置、わかりやすいルールの示し方などを工夫しましょう。
- ・学習や作業は 10~15 分など、集中できる時間に区切って行うといいです。
- ・望ましい行動をほめて増やしていくことが大切です。

発達障がいの子どもたちをサポートする施設

新潟市発達障がい支援センター「JOIN (ジョイン)」

(詳しくは新潟市発達障がい支援センターのホームページを見てください。)
発達障がいのある人やその家族が安心して地域で暮らせるよう、様々な相談に応じています。子育てについてアドバイスをしたり、必要に応じて心理・発達検査を実施します。

7 精神障がい

「うつ病」「統合失調症」などのために、生活する上で困難を抱えている状態をいいます。外見からはわかりにくく、「怠けている」などと誤解を受けることもあります。強いストレスや生活環境の変化などが原因と考えられています。

症状によっては、学習や仕事を続けることができなかったり、コミュニケーションがうまく図れず、引きこもりの状態になってしまい場合もあります。

○統合失調症

統合失調症は、脳の様々な働きをまとめることができ難しくなるために、幻覚（実際にはないものをあるように感じる知覚の異常）や妄想（明らかに誤った内容を信じてしまい、周囲の人が訂正しても受け入れられない状態）などの症状が起こる病気です。

○気分障がい

「ゆううつな気分」「気持ちが重い」といった「うつ状態」が、ほぼ一日中あり、それが長い期間続くのが「うつ病」の症状です。気分がよくて無謀な買い物をするような極端な「躁状態」と極端な「うつ状態」が交互にあらわれるのが「双極性障がい」（躁うつ病）です。

【精神障がいの人に対する配慮・理解】

・周りの人たちが正しく理解し、支援することにより、社会参加できるようになります。
本人の努力を認め、温かく見守るような配慮が大切です。

精神障がいの人たちをサポートする施設

こころの健康センター

うつ病、統合失調症、アルコール・薬物依存、摂食障害などのこころの健康や、災害や事故後の気持ちの変化に関して、本人および家族との相談、支援などを行っています。

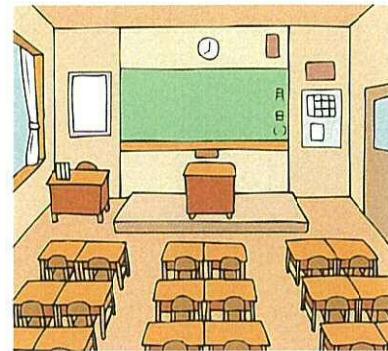
(詳しくは新潟市のホームページを見てください。)

Ⅱ 障がいのある子どもたちの学習の場

障がいなどにより配慮が必要な子どもたちへの教育を、特別支援教育といいます。新潟市には、障がいのある子どもたちが、その障がいの状態に応じて専門的な支援を受けられる様々な学習の場があります。

○通常の学級

障がいがあっても、一人一人の実態に合わせた支援を受けながら、通常の学級で授業を受けている子どもたちがいます。通常の学級で学習するのが困難な教科が増えてきた場合は、特別支援学級で学習できるように変更することができます。



○通級による指導

新潟市には「ことば」「きこえ」「発達障がい」の通級指導教室があります。通級による指導は、週1回、近隣の通級指導教室に通い、その障がいに関する専門的な指導を受けることができます。

(詳しくは新潟市のホームページを見てください。)

○特別支援学級

新潟市内の小学校、中学校には特別支援学級が設置されている学校があります。知的障がい、肢体不自由、身体虚弱、弱視、難聴、発達障がいなどがある児童生徒が、少人数で学習する場です。特別支援学級は、一人一人の実態に合わせて、国語、算数・数学、音楽、体育などの学習を進めています。通常の学級の児童生徒と一緒に学習する時間も組み込まれています。



○院内学級

長期療養で入院している児童生徒が学習するための院内学級もあります。

病気治療の上で負担にならない範囲で主治医から学習を許可された児童生徒が、病院内で学習しています。

院内学級の担当教員が病院に行き、院内学習室での少人数学習や、病室での個別学習を行っています。



○特別支援学校

特別支援学校には、肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、病弱、知的障がいの子どもを対象とする学校があります。

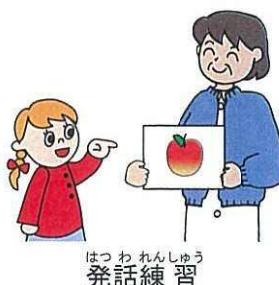


新潟市内には、新潟市立、新潟県立、大学附属の特別支援学校があります。

幼稚部、小学部、中学部、高等部があり、それぞれの年齢に該当する園児、児童、生徒が学習しています。

それぞれの障がいに配慮した施設や、専門的な設備や教材を活用しながら、一人一人の子どもがもっている力を高め、生活や学習上の困難を改善するために必要な支援を受けられる場です。

特別支援学校では、通常の授業の他に、「自立活動」という学習があります。一人一人の子どもの実態に応じて、自立して生活を送ることができますように指導内容が組まれています。



かんれん ほん しょうかい

関連する本の紹介

さまざま しょう り かい しようと ひと しえん
様々な障がいについての理解や、障がいのある人への支援について、もっと詳しく知りたい場合は、関連する本を読んでみましょう。

「障がいを知る本」 全11巻 大月書店発行

ナンバー No.	書名	ナンバー No.	書名
1	障害と私たちの社会	7	自閉症の子どもたち
2	ダウン症の子どもたち	8	LD(学習障害)の子どもたち
3	てんかんのある子どもたち	9	知的なおくれのある子どもたち
4	ことばの不自由な子どもたち	10	からだの不自由な子どもたち
5	耳の不自由な子どもたち	11	障害児を支える人びと
6	目の不自由な子どもたち		

市立図書館では、「学校貸出セット(オレンジBOX)」に、福祉をテーマにしたセットを用意して学校に貸し出しています。

※内容は平成27年度のものです。最新版は、学校図書館支援センターへ問い合わせてください。

セットNo. 総合1

テーマ「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」

合計40冊

ナンバー No.	シリーズ名・書名	発行所
1~6	「バリアフリー」ってなんだろう? 1~6	学習研究社
7~12	さがしてみよう!まちのバリアフリー 1~6 各2冊	小峰書店
13~22	バリアフリーの本 1~10	偕成社
23	町や住まいにあるバリア	くもん出版
24	バリアフリーをめざして	岩崎書店
25	ユニバーサルスポーツ アンド あそびアイディア集	学習研究社
26	“ちょボラ”でバリアフリーのまちづくり	学習研究社
27	しらべよう!りかいしよう!点字の世界3 「町の点字をしらべよう!」	岩崎書店
28	障害をもつ人といっしょに	岩崎書店
29	ともにゆたかに生きるために	ポプラ社

ナンバー No.	シリーズ名・書名 めい しょめい	発行所 はつこうじょ
30	みんながつかうたてものだから	かいせいしや 偕成社
31~33	ユニバーサルデザインみんなのくらしを便利に1~3 べんり	しょぼう あかね書房
34	ユニバーサルデザインがわかる事典 じてん	けんきゅうじょ PHP研究所

セットNo. 総合2 テーマ 「点字・手話」 合計30冊

ナンバー No.	シリーズ名・書名 めい しょめい	発行所 はつこうじょ
1~3	しらべよう！りかいしよう！点字の世界1~3 てんじ せかい	いわさきしょてん 岩崎書店
4	世界の文字と言葉入門1~5 せかい もじ ことば にゅうもん	こみねしょてん 小峰書店
5~9	てではなそう1~5	かわしおじょ 柏書房
10~12	バリアフリーの本2・4・5 ほん	かいせいしや 偕成社
13~17	ボランティアに役立つはじめてあいう点字1~5 やくだ てんじ	いわさきしょてん 岩崎書店
18~23	やってみよう！はじめての手話1~6 しゅわ	いわさきしょてん 岩崎書店
24	G-10とマナブくんの点字教室 てんじ きょうしつ	せんこく しかくしょうがいしやじょうほう ていきょう し せつきょうかい 全国視覚障害者情報提供施設協会
25	歌でおぼえる 手話ソングブック うた しゅわ	すずき出版 しゅづきしゅ
26	子どものための手話事典 しゅわ じてん	ちょうぶんしや 汐文社
27	手話の絵事典 しゅわ えじてん	けんきゅうじょ PHP研究所
28	新・点字であそぼう しん てんじ	どうゆうかん 同友館
29	点字どうぶつえん てんじ どうぶつえん	どうゆうかん 同友館
30	みんなで遊べる 手話ゲームブック あそ しゅわ	しゅづきしゅ すずき出版

セットNo. 総合3 テーマ 「障がい」 合計29冊

ナンバー No.	シリーズ名・書名 めい しょめい	発行所 はつこうじょ
1~7	障害を知ろう！みんなちがって、みんないい 1~7 しょうがい し	きん ほししゃ 金の星社
8~19	はったつ しょうがい かんが ほん 発達と障害を考える本 1~12	しょぼう ミネルヴァ書房
20~26	みんなで考えよう 障がい者の気持ち 1~7 かんが しょうがい しゃ き もち	がっけんきょういくしゅづん 学研教育出版
27	こんなときどうする？発達障害のある子への支援 はったつ しょうがい こ し えん	しょぼう ミネルヴァ書房
28	しょう ひと 障がいのある人たちとともに	いわさきしょてん 岩崎書店
29	イラスト版からだに障害のある人へのサポート ほん しょうがい ひと	ごうどうしゅづん 合同出版

Ⅲ 障がいのある人たちの活躍

1 スペシャルオリンピックス 2016新潟

スペシャルオリンピックスは、知的障がいのある人に、スポーツトレーニングや競技会の場を提供する活動です。1962年に、故ケネディ大統領の妹、ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を開放して開いたディ・キャンプがスペシャルオリンピックスの始まりです。この活動に参加する知的障がいのある人は「アスリート」と呼ばれています。「アスリート」は、コーチや地域のボランティアと一緒に、日々のトレーニングに励み、練習の成果を発表する場として競技会に出場します。

競技会には、地区大会のほか、4年に1度開かれる世界大会とその前年に開かれる全国大会があります。2016年2月、新潟県で冬季の全国大会「スペシャルオリンピックス 2016新潟」が開かれました。新潟市では、アイススケートとフロアホッケーの競技が、南魚沼市ではスキーカンパニー競技が行われ、全国各地から約630人のアスリートが参加し、たくさんの市民が大きな声援を送りました。

スポーツの競技会では、予選をして、決勝に進む選手を決めますが、スペシャルオリンピックスの大会では、予選で落ちる選手は一人もいません。全員が決勝に出場することができるのです。予選の結果から、力が同じくらいのアスリート同士でグループ分けを行い、そのグループの中で決勝を行います。これを「ディビジョニング」と言います。力が同じくらいのアスリート同士で競技をすることで、アスリートは自分の力を最大限に發揮し、自分の力をさらに高めることができます。

決勝は、8人以内のグループで行います。表彰台は8位まであるので、全員が表彰されます。1位から3位まではメダル、4位から8位まではリボンが贈られます。スペシャルオリンピックスは順位だけでなく、最後まであきらめずに全力で競技したすべての選手を表彰し、たたえるのです。

「スペシャルオリンピックス 2016新潟」大会では、知的障がいというハンディキャップに負けずに、自分の力を精一杯發揮しようとするアスリートの姿が、たくさんの人々に、勇気と感動を与えてくれました。みなさんも、スペシャルオリンピックスのアスリートと一緒に、スポーツを楽しんでみませんか？

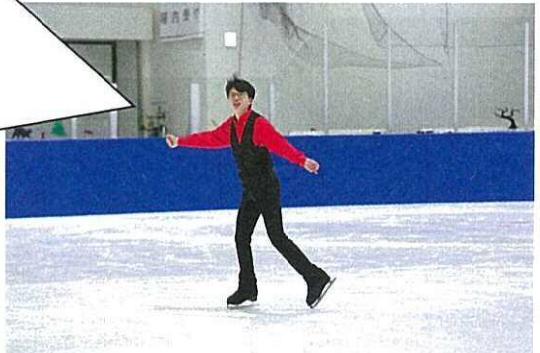
実行委員会事務局長 久保田 健



2 「スペシャルオリンピックス2016新潟」に参加して

開会式では、選手宣誓をすることになり、緊張しましたが最後までやり遂げました。後半からはゲストが来て楽しかったです。二日目はエキシビションに出演し、森理世さんと一緒に滑りました。不安もありましたけど、何とか乗り越えられましたよかったです。三日目は最終練習をして本番を迎えました。今までやってきたことを思い出して、今、できることを精一杯やろうと胸に誓いました。結果は銅メダルでした。たくさんの方々に支えられて、応援していただき、ありがとうございました。今後もスケートを継続したいです。これで終わりではなく、ここからがスタートです。

齋藤舜さん



アイススケート（新潟市）

唐津克章さん



スノーシューイング（南魚沼市）

はじめて、ナショナルゲームに出ました。人がたくさんいてワクワク。「ヨッシャー」と気合いをいれて走りました。スノーシューイング100メートルで金、リレーで銀メダルを取りました。とってもうれしかったです。表彰式で大きな声で、バンザイ、バンザイと言いました。ナショナルゲームのメダルはきらきらとしてきれいなメダルです。これからも、練習をがんばります。

帆苅千恵さん



フロアホッケー（新潟市）

とても賑やかな大会で、開会式で歌って踊つたことがとても楽しかったです。試合を見に来てくれた友達と久しぶりに会えてうれしかったです。練習も試合も頑張ったけど、結果は4位で、とても悔しかったです。コーチや仲間ともっと練習して、次は優勝したいです。私は、大会後もずっと長くフロアホッケーを続けたいし、みんなにも続けてほしいと思いました。大会に協力してくれた皆さんに感謝しています。

（写真提供：スペシャルオリンピックス日本）

3 障がいのある人たちの働く姿

新潟市障がい者雇用企業認定事業

(みつばち企業認定制度)について

この制度は「障がいのある方が働いていることをもっと知ってほしい。障がい者の雇用を大切にする企業をもっと知ってほしい。」という思いから始まりました。下のような「みつばちプレート」を見かけたら、そこは障がいのある方に理解があり、雇用に積極的に取り組んでいる事業所であるということです。



この制度のシンボルである3匹のみつばちは、障がい者就労支援施設「あおぞらソラシード」に通所されている、安永 陸さんによるデザインです。

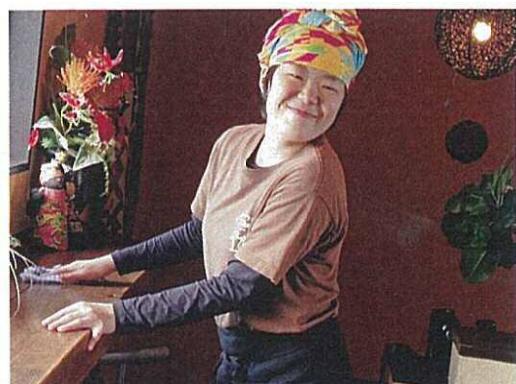
African Bakery Café ナミテテ 和田 春菜さん(知的障がい)

(パンの販売補助・製造補助)

ナミテテが好きで、ここで働きたいと思いました。お客様にパンを渡す時やスタッフに声かけをする時、店長からお給料をもらう時がうれしいです。

これからはパン作りをやってみたいし、商品の袋詰めで、決まったグラムに合わせることをうまくやれるようになります。

毎日通う場所があり、するべきこと、できることがあるのがとてもうれしいです。



新潟市教育委員会学務課

さかい 酒井 茂 さん

(肢体不自由)

(経理係 主査)

大学卒業後、新潟市役所に採用され、
市民課に6年、契約課に4年勤務しま
した。その後、新潟市教育委員会学務
課に勤務して6年になります。



がっこう よ さん はいとう けいり
学校予算の配当や経理に
かか し ごと
関わる仕事をしています。
くるま あめ ゆき ふ
車いすなので雨や雪が降つ

たときの出張が大変ですが、同じ課の人
たちが親切に対応してくれています。

し みん やく た し ごと
市民の役に立つ仕事がしたいと思い、
こ う む い ン え ら
公務員を選びました。

に い が た し や く し ょ わ た し ほ か お な
新潟市役所には私の他にも同じように
くるま き ん む ひ と
車いすで勤務している人がいて、とても
こ ろ づ よ
心強いです。

まちなか ほっとショップ

(新潟市中央区西堀通り NEXT21 5階 10時～19時)

『まちなかほっとショップ』は障がいのある
かた ふく し じ ぎょう しょ こころ つく や
方たちが、福祉事業所で心をこめて作った焼き
たてのパン、お菓子、ぬくもりが伝わる工芸品、
かわいい雑貨などを展示・販売する店です。

立ち寄った人が「ほつ」とリラックスできる
ば し よ ひと
場所です。皆さんも訪れてみませんか。

※新潟市内には多くの障がい者施設があり、昼食を提供したり、弁当を作り、高齢者の
お宅に届けながら見守りをしている施設もあります。



IV 高齢者について理解しよう

1 高齢化の現状

全国的には、少子高齢化が更に進行し、2030年には高齢者（65歳以上）の割合は、総人口の3割に達すると見込まれています。

新潟市でも高齢化が進んでいます。2015年（平成27年）11月末のデータでは、全人口の4人に1人が高齢者となっています。

世帯数で見ると、全世帯の半数以上が高齢者のいない世帯で、4世帯に1世帯が高齢者のみの世帯です。（最新データは新潟市のホームページを見てください。）



2 高齢化による身体機能の変化

誰でも高齢になると身体の機能が衰え、以下のような症状が出てくることがあります。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| ・視野が狭くなる | ・耳が遠くなる | ・歯が弱くなる | ・歩幅が狭くなる |
| ・骨がもろくなる | ・筋力が低下する | ・味覚が低下する | ・温感が低下する |

新潟市社会福祉協議会には、高齢者がどんな身体状況になるのかを実際に体験できる「高齢者疑似体験」のセットがあります。その他、福祉教育の協力もしています。希望する場合は、各区の社会福祉協議会に連絡してください。

（連絡先は新潟市社会福祉協議会のホームページを見てください。）

3 地域包括ケアシステム

新潟市では「地域包括ケアシステム」を推進しています。高齢者に限らず、子ども、障がい者、高齢者を含む地域の方々を、地域で支えるシステムです。

（詳しくは新潟市のホームページを見てください。）

The diagram illustrates the Regional Integrated Care System (Yoki Kaisha) as a network of services for elderly and disabled individuals. It shows four main components: Medical Care (医療), Living Support (住まい), Life Support (生活支援), and Care (介護). Each component includes specific service examples:

- Medical Care (医療):**★病気になっても、住み慣れた環境で安心して暮らし続けられるための医療を提供する。
★医師・看護師・薬剤師・介護職員など専門の人たちがつながりを深める。
- Living Support (住まい):**★自宅のほか、集合住宅への住み替えや介護保険施設などに入所する。
- Life Support (生活支援):**★地域での助け合いや見守りをする。
★地域の祭の間やサロンなど居場所を活用する。
- Care (介護):**★在宅生活を支援するサービスを活用する。
★認知症の人や家族を支える。(市HP・介護保険サービスガイドを参照)

4 介護保険サービス

○介護保険の対象者

介護保険制度は、40歳以上の人全員から介護保険料を納めてもらいたい、それを基に、寝たきりや認知症の高齢者に介護サービスを提供することを目的としています。入浴、排泄、食事などの日常の生活動作について介護や支援が必要になったときに利用することができます。

○訪問介護～ホームヘルプサービス～

訪問介護員（ホームヘルパー）が自宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの身体介助、食事の用意や衣類の洗濯、部屋の清掃などの生活援助を行います。



○通所介護～デイサービス～

高齢者がデイサービスセンターなどの施設へ通い、そこで、入浴や食事の提供や、日常生活上の世話を受けます。

○通所リハビリテーション～デイケア～

高齢者が介護老人保健施設などの施設へ通い、リハビリテーションや、入浴・食事の提供を受けます。レクリエーションも行います。

○短期入所生活・療養介助～ショートステイ～

介護する方の負担を軽減するために、特別養護老人ホームや老人保健施設・病院などの施設へ、高齢者が短期間入所し、入浴、排泄、食事などの介助や、日常生活上の世話・機能訓練を受けます。

○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

常に介護が必要で、自宅では介護が困難な高齢者が入所します。

施設サービス計画に基づいて、入浴、排泄、食事などの介助、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などのサービスを受けることができます。



V 認知症について学ぼう

1 認知症とは

認知症は、誰にでもなる可能性のある病気です。いろいろな原因で、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなつたために、生活する上で困難が生じます。年をとるほど認知症になりやすく、85歳以上では4人に1人が認知症になっています。(厚生労働省のホームページより)

認知症の初期における特徴的な症状は、「最近のことを思い出せない」ことです。

老化による「もの忘れ」と認知症による「もの忘れ」の違い

老化による「もの忘れ」	認知症による「もの忘れ」
・体験の一部を忘れる 例 食事したことは覚えているが食べたものを忘れる。	・体験そのものを忘れる 例 食事したこと自体を忘れる。
・日常生活にあまり困難が生じない 例 昔、活躍した歌手の名前を思い出せない。	・日常生活に困難が生じる 例 仕事の約束を忘れる。 例 毎日通っている道で迷う。
・もの忘れをしている自覚がある	・もの忘れをしている自覚がない
・新しいことを覚えることができる	・新しいことを覚えられない

認知症の症状が進むと、外出したまま家に帰れなくなったり、人格が変わり暴言や暴力を振るつたりして、介護している人にとって非常に苦痛な状態になることもあります。



○アルツハイマー型認知症

一番多いのが「アルツハイマー病(アルツハイマー型認知症)」で、男性よりも女性に多くみられます。1907年にドイツの精神科医であるアルツハイマー博士が初めて報告したことから、博士の名前が病名につけられました。アルツハイマー病は、早期発見と治療で進行を遅らせることができます。

○脳血管性認知症

次いで多いのが「脳血管性認知症」で、比較的男性に多くみられます。脳梗塞(脳の血管が詰まる)や脳出血(脳の血管が破れる)などが原因で、その部分の脳の働きが悪くなるために、転びやすい、言葉が出てこないなどの症状が見られます。

○若年性認知症

若くとも、脳血管障がいや、若年性アルツハイマー病のために、認知症になることがあります。65歳未満で起きた認知症を「若年性認知症」といいます。

若年性認知症の人は働き盛りの年代であるため、本人だけでなく家族の生活にも大きく影響します。仕事を続けることが困難になり、退職した結果、経済的に苦しい状況になることもあります。

2 認知症は予防できる

○軽度認知障がい (MCI)

「軽度認知障がい」は、認知症の一歩手前の段階で、軽い記憶障がいなどはあっても基本的に日常生活は送れる状態です。下の症状が、3つ以上見られる場合は、専門医に診察してもらうことが必要です。

- 外出するのを面倒くさがる
- 同じことを何回も話す
- 手の込んだ料理を作らなくなる
- 運転していて車をこすることが増える
- 外出時の服装に気を使わない
- 小銭の計算が面倒でお札で支払う
- 味付けが変わったと周囲の人々に言われる

軽度認知障がい (MCI) は、脳内の細い血管から出血したりして、神経細胞が壊れることが原因と考えられています。

特徴的な症状は、歩く速さが遅くなることです。

横断歩道の信号が赤に変わる前に渡れきれない程度の速さです。軽度認知障がい (MCI) の段階で発見し適切に対処すれば認知症になることを防いだり先送りできることがわかつてきました。



○認知症を予防するポイント

認知症は、現在、完全に治すことが難しい病気なので、その予防対策は重要です。生活習慣を改善することで認知症を予防することができます。

- ・青魚（秋刀魚、マグロ、鰯など）を積極的に食べる
- ・野菜や果物を多く食べる
- ・水分を十分にとる
- ・適度な運動を習慣化する
- ・頭を使う趣味をもつ
- ・人ととの絆を大切にする



こうせいろうどうじょう 厚生労働省 のホームページより

3 認知症サポーターになろう

こうせいろうどうじょう 厚生労働省 では「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一つとして、「認知症サポーターキャラバン」事業を実施しています。認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。

○認知症サポーターに期待されること

(詳しくは厚生労働省のホームページを見てください。)

- ・認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。
- ・認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
- ・近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。

○新潟市の「認知症サポーター養成講座」

にいがたし 新潟市の「認知症サポーター養成講座」では、認知症についてわかりやすく学ぶことができます。受講者には、認知症サポーターになった証であるオレンジリングが渡されます。
個人でも、学級・学年単位でも受講できます。
希望する場合は、各区の健康福祉課へ問い合わせてください。



(健康福祉課の電話番号は新潟市のホームページを見てください。)

「認知症サポーター養成講座」

こう
講
ない
内
じ
時
きょう
教
じゅこうりょう
受講料
もうし
申込

師
師
容
よう
間
かん
材
ざい

キャラバンメイト (新潟市の研修を受講した講師)
認知症の症状や具体的な接し方
60分～90分
認知症サポーター小学生養成講座副読本
「認知症ってなあに？」
無料
10名以上の団体で各区健康福祉課高齢介護係へ
問い合わせ



4 認知症の人と接するときの心構え

認知症の症状は、その人の性格や生活環境によって現れ方がそれ
ちが
ぞれ違います。

認知症の症状に最初に気づくのは本人です。もの忘れて失敗した
り、今まで簡単にできていた家事や仕事が
うまくいかず何となくおかしいと感じ始め
ます。特に、人に言われても思い出せない
ことが多くなると、不安を感じ始めます。

「認知症になったのではないか」という
不安は、想像を絶するものでしょう。

認知症の人は何もわからないのではなく、誰よりも心配で、苦し
くて、悲しいのです。

認知症の人には、障がいを理解した上で、温かく見守り、適切な
援助をしてくれる人が必要です。まちのあらゆるところに、援助を
してくれる人がいれば、認知症の人は外出もでき、自分でやれるこ
とも増えるでしょう。こころのバリアフリーの地域社会をつくるこ
とが認知症サポーターの役割です。



VI 高齢者の方たちの大きな力

私たちの住んでいる地域や学校を支えてくれているのはコミュニティ協議会や自治会、地域ボランティアの高齢者の方々です。

大形地区コミュニティ協議会

会長 滝沢 荘爾さん (写真中央)
福祉部会長 森本 洋子さん (写真左)
事務局長 宮嶋 晋さん (写真右)

大形地区コミュニティ協議会では、

様々な活動を行っています。その一つに「大形ふれあいウォークラリー」があります。

福祉部会が中心になって毎年10月の第一日曜に実施しています。



20年以上続いているイベントで平成27年は、280人の参加がありました。豚汁を提供するために民生委員・児童委員10人で、2時間かけて仕込みをしました。

大形地区にある教養施設と協働で、地域おこしをしたいと考えています。

地区にある特別支援学校や就労支援施設の障がい児・者や、大形地区の子どもたちが参加します。当日は、幼児、小・中学生、大人で5~6人のグループになり、約1時間、決められたコースを楽しく話しながら歩きます。コースを間違えたり交通事故にあったりしないように、安全部会の人たちが各地点で見守ります。

このイベントを通して参加者に大形地区をよく知ってもらいたいという願いから、毎年コースを変えて実施しています。森本さんと福祉部会の人たちが、何度もコースの下見を行い、必要な時間を計り、特別支援学校や就労支援施設の方々と細かな打合せをしていることで、このイベントが実りあるものになっています。



ちいききょういく 地域教育コーディネーター・ボランティア

子どもたちや地域の
様々な年代の方と交
りゆう流でき、学校の役に立
てていることがうれし
いです。



ちいききょういく
地域教育コーディネーター
ひらやま 早苗 さん (写真中央)
にしやま 西山 久子 さん (写真 右)
たなか 田中 容子 さん (写真 左)

しょうぜ しょうがっこう
庄瀬小学校の4・5年生は総合的な学習の
じかん 時間で、たう いねか たいけん
田植えや稻刈りを体験しています。

ちいききょういく
3人の地域教育コーディネーターは、農業
くわ ちいき かたがた がっこうでん
に詳しい地域の方々に、学校田ボランティア
ねが たいけんかつどう ささ
をお願いし、体験活動を支えています。



こうつうあんぜんきょうしつ
交通安全教室、プール清掃、野菜の苗の植え付け、白根大廻合
せん 戦に向けての子ども廻の作製、1年の昔遊び、高学年の裁縫の手
伝いと、多くの仕事があります。田中さんは、ボランティア通信
をさくせい ほ ごしゃ ち いき かた かつどう ようす つた
作成し、保護者や地域の方に活動の様子を伝えています。



こちょう しょういち
牛腸 庄一 さん (写真 左)
たむら ぎさぶろう 田村 義三郎 さん (写真 右)



庄瀬小学校では約10名の方々が「花
クラブ」のボランティアとして活躍して
います。牛腸さんは草刈り機持参で花壇
の整備を担当しています。春一番に花を
咲かせる水仙、卒業・入学式用のサクラソウ
や、サルビア、カンナなどを咲かせます。

作業の後、お茶を飲みながらみんなで世間話をするのが楽しみです。
自分の趣味も生かせます。

田村さんは地域の歴史が

得意です。9月末に縦割り班で行う「地域ウォーキング」でクイズの答えを説明したり総合的な学習の時間で堀部安兵衛について話をしたりしています。



VII 高齢者や障がいのある人たちとの交流

○対等な立場で同じものを楽しむ活動（越前小学校）

越前小学校では、地域に住むお年寄りとの交流や、地域の高齢者福祉施設（角田長生荘、越前ふれあいセンター、七浦の里、豊寿苑）などを訪問する活動を行っています。

お年寄りとの交流活動に向けて、事前学習として高齢者疑似体験を行い、お年寄りの立場を理解しました。

交流活動では、最初にカーリンコンのゲームをすることで、その後の会話による交流をスムーズに進めることができました。



カーリンコンで一緒に遊ぶ



肩もみしながら楽しく会話

○「田畠の活動」と福祉施設訪問・交流（笠木小学校）

笠木小学校では、縦割り班によるボランティア活動として、全校児童による「田の活動」や「畑の活動」に取り組んでいます。学校田では「こがねもち」を作っています。

自分たちで栽培、収穫した餅米、じゃがいも、大根などの農作物は、地域の障がい者支援施設や老人福祉施設に贈呈しています。

5・6年生は、一年おきに、地域の障がい者支援施設の「新潟みづほ園」と「みのり園」へ訪問し、障がいのある方やお年寄りとゲームを楽しんだり、児童が手品を披露したりして交流しています。

3・4年生は、高齢者疑似体験、車いす体験も行っています。



福祉施設での交流（風船ゲーム）



車いす体験↑ 高齢者疑似体験→



○地域と連携した防災訓練～防災五人組～（小針小学校）

小針小学校では家が近い者同士で「防災五人組」を結成しています。そして地域における危険な場所の確認や自治会の避難訓練への参加を通して地域防災へも積極的に関わりをもつようになっています。新潟地震が発生した6月16日には、地域住民や保護者も参加して、地震による津波を想定した学校の避難訓練を実施しました。

9月には、小針小学校区コミュニティ協議会との合同事業として、合同防災訓練を実施しました。地域での地震発生を想定し、各自治会の避難場所に児童と地域住民が一次避難しました。その後、防災五人組で小針小学校へ二次避難しました。消火器の取り扱い、バケツリレー、心肺蘇生法、濃煙体験などの訓練を共に体験しました。



バケツリレー



心肺蘇生法

VIII 障がい者に関するマークについて学ぼう

皆さん、次のマークの意味がわかりますか。（詳しくは内閣府のホームページを見てください。）

マーク	名称・意味すること
	<p>障がい者のための国際シンボルマーク 障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。 駐車場などで、このマークを見かけた場合は、障がい者の方の利用を優先します。 ※このマークは「すべての障がい者を対象」としたものです。特に車いすを利用する障がい者を限定して使用されるものではありません。</p>
	<p>盲人のための国際シンボルマーク 世界盲人会連合で1984年に制定された、盲人のための世界共通のマークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーを考慮した建物、施設、機器などに付けられています。 信号機や国際点字郵便物などで身近に見かけるマークです。</p>
	<p>耳マーク（国内） 聴こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。聴覚障がい者は、見た目にはわからぬために、誤解されたりして、社会生活上で不安が少なくありません。このマークを提示された場合は、相手が「聞こえない」ことを理解しコミュニケーションの方法について配慮してください。</p>
	<p>ほじょ犬マーク 身体障がい者補助犬同伴の啓発のためのマークです。身体障がい者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの施設でも身体障がい者補助犬が同伴できるようになりました。「ハーネス」を付けている時は、犬にさわってはいけません。</p> 
	<p>ハート・プラスマーク 「身体内部に障がいがある人」を表しています。内部障がいの方は外見からはわかりにくいため、様々な誤解を受けることがあります。このマークを着用している方が、電車などの優先席や、障がい者用駐車スペースを利用することに協力し、近くでは携帯電話を使用することを控えましょう。</p>

新潟市障がいのある人も共に生きるまちづくり条例の概要

目的

障がいのある人も安心して暮らせる共生社会の実現

※「障がいのある人」とは、障がい者手帳を所持している人に限らず、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい、難病を原因とする障がいなどの、心身の機能の障がいがある人で、日常生活や社会生活に相当な制限を受ける状態にある人をいいます。

基本理念

全ての市民が、障がいや障がいのある人に対する理解を深めるとともに、話し合いにより相互の立場を理解すること

条例で禁止している事項

市・事業者に対して、障がいなどを理由とする差別（不利益な取扱い・合理的配慮の不提供）を法的義務で禁止

※差別を法的義務で禁止していますが、話し合いによる解決を優先します。

不利益な取扱い

< 具体例 >

- ・スポーツクラブや習い事の教室などで、障がいがあることを理由に、入会を断ること。
- ・アパートの契約の際、障がいがあることを理由に、アパートを貸さないこと。
- ・車いすを利用していることを理由に、入店を断ること。

合理的配慮の不提供

※配慮が大きな負担になる場合は、合理的配慮の不提供に当たりません。

< 具体例 >

- ・聴覚障がいのある人に声だけで話すこと。
- ・視覚障がいのある人に書類を渡すだけで読み上げないこと。
- ・知的障がいのある人にわかりやすく説明しないこと。

合理的配慮と障がい特性について

「障がいのある人が、その障がい特性により困っている時に、その人の求めに応じて、その人に合った調整や工夫を行うこと」を合理的配慮と言います。

普段、私たちが眼鏡をかけたり、お年寄りに少し大きな声でゆっくり話しかけたりするように、不自由さを補う調整や工夫があれば、障がいのある人にもできることはたくさんあります。様々な障がい特性や、障がいのある人への配慮を正しく理解することで、日常生活で障がいのある人に合わせた調整や工夫を行うことができ、みんなが、楽しく、安心して暮らせるようになります。



しょうがくせいふくしどくほん
小学生福祉読本

こころゆたか
だれもが心豊かに暮らせるまちづくり

はっこうび 発行日 へいせい 平成28年4月 ねん がつ

へんしゅう 編集 ふくしどくほんさくせいいいんかい
福社読本作成委員会

はつこう 発行 にいがたしきょういくいいんかい
新潟市教育委員会